



Vi BLU Link カード

クイックスタートガイド

## Vi BLU Link カード

### ■ 主な特徴

Soundcraft Vi BLU Link カードは、Vi6/4/2、Vi1、Vi3000 及び Compact Stagebox と BLU Link 対応製品の間で最大 32 チャンネルの音声信号の送受信が可能なインターフェースです。

BLU Link は最大 256ch を伝送・分配できる音声信号バスです。スイッチやハブなどのネットワーク機器を使用せず、簡単にデジタル音声伝送システムを構築できます。機器間の伝送は Cat5e または Cat6 で最長 100m まで、光メディアコンバーターを使用すれば最長 10km まで伝送可能です。

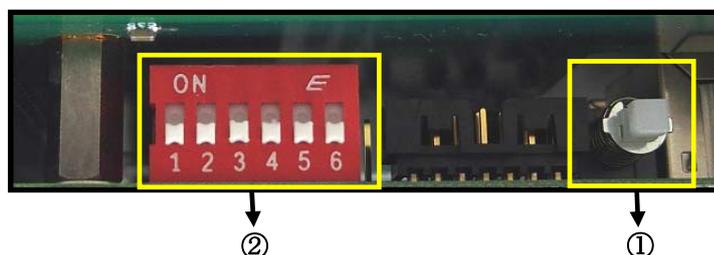
Vi BLU Link カードは Vi6/4/2 用ローカルラック、Vi1、Vi3000 及び Compact Stagebox でご使用いただける他、Vi Stagebox に対応したモデルもご利用いただけます。(要問合せ)

Vi BLU Link カードには同期用のケーブル(BNC - D-sub 9 pin)が同梱されており、コンソールが BLU Link ネットワーク内でスレーブとなる場合はコンソールの Wordclock インプット～BLU Link Wordclock アウトプット間で接続する必要があります。



## ■ Vi BLU Link カードの設定

Vi BLU Link カードは BLU Link チャンネルのアサイン及びクロック設定をカードのスイッチから設定する必要があります。



### ① クロック・マスター設定スイッチ

クロック・マスター/スレーブの設定を行うスイッチです。

- ・クロック・マスタースイッチを ON(スイッチを押した状態)にした場合、BLU Link マスターとなり Vi BLU Link カードはコンソールの Wordclock と同期します。

- ・BLU Lin ネットワーク内において既にマスターが設定されている場合、Vi BLU Link はスレーブモードで運用する必要があり、クック・マスタースイッチは OFF にする必要があります。

※Vi BLU Link カードをスレーブモードで運用する場合、コンソールの Wordclock インพุット～BLU Link Wordclock アウトプット間を付属のケーブルで接続する必要があります。ケーブルが正しく接続されるとコンソールの Wordclock インพุット横にある緑の LED が点灯し、コンソールが BLU Link ネットワークに同期していることを示します。

### ② BLU Link チャンネルアサインスイッチ

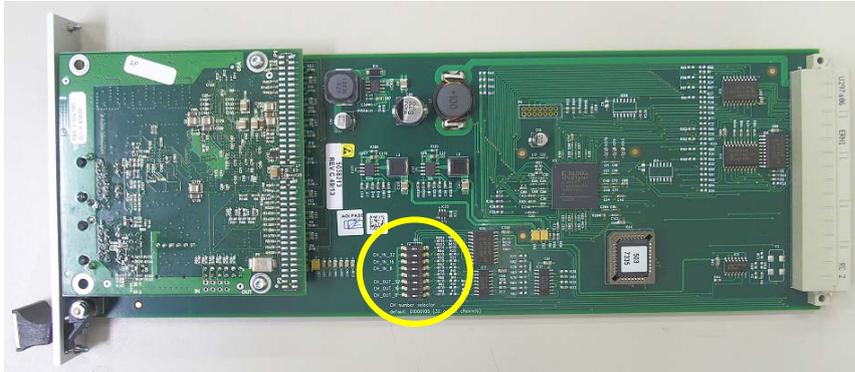
下図の通りディップスイッチで BLU Link のアサインチャンネルを 32ch ごとに決定します。DIP スイッチ 1-3 がコンソールからの出力チャンネル(TX)、4-6 がコンソールへの入力チャンネル(RX)に対応しています。

BLU Link On Ramp (BLU Link TX)			
SW1	SW2	SW3	アサインチャンネル
OFF	OFF	OFF	1-32
OFF	OFF	ON	33-64
OFF	ON	OFF	65-96
OFF	ON	ON	97-128
ON	OFF	OFF	129-160
ON	OFF	ON	161-192
ON	ON	OFF	193-224
ON	ON	ON	225-256

BLU Link On Ramp (BLU Link RX)			
SW4	SW5	SW6	アサインチャンネル
OFF	OFF	OFF	1-32
OFF	OFF	ON	33-64
OFF	ON	OFF	65-96
OFF	ON	ON	97-128
ON	OFF	OFF	129-160
ON	OFF	ON	161-192
ON	ON	OFF	193-224
ON	ON	ON	225-256

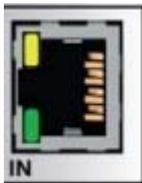
## ■ チャンネルカウント設定スイッチ

Vi BLU Link カードはデフォルトで 32 チャンネルの信号を送受信できる設定になっています。各コンソールの許容入力チャンネル数を超えないように DIP スイッチで使用チャンネル数を設定します。工場出荷時は 32x32 チャンネル送受信可能な設定になっています。



## ■BLU Link LED インジケータ

次の条件に従って BLU Link LED インジケータが点灯もしくは点滅します。



**オレンジ** - BLU Link ポートが正常に動作していることを示します。

**緑** - 他の BLU Link 対応デバイスと正しく接続されていることを示します。

## ■ミキサーへの装着

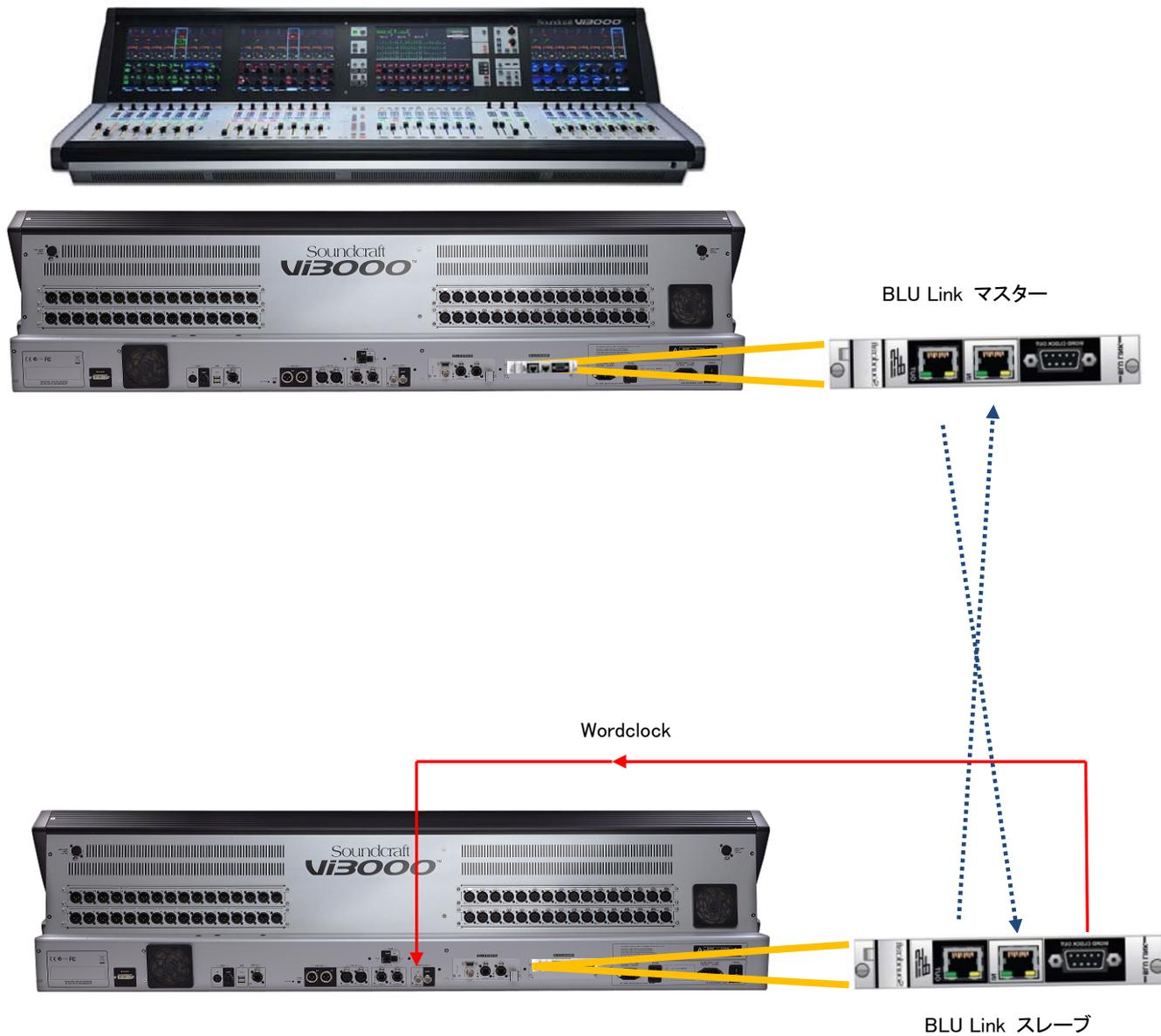
ここではミキサーへの装着方法について記載します

- ① カードの DIP スイッチが目的に応じて正しく設定されていることを確認します（クロックの設定/チャンネル数）。
- ② コンソールの電源を OFF にし、電源ケーブルを抜きます\*。
- ③ カードをオプションスロットのガイドレールに合わせゆっくりと挿入し、押し込みます。
- ④ ねじを締めてカードを固定します。
- ⑤ コンソールの電源を入れます。

※コンソールの電源を入れた状態でカードを差し込むと（いわゆる「ホットプラグ」）、カードまたはコンソールの重大な損傷の原因となります。コンソールの電源が切断され、コンソールの電源ボタンが緑色に点灯または点滅していないことを確認してください

## ■セットアップ例

BLU Link ネットワーク内に複数の BLU 対応デバイスがある場合、スレーブとなるデバイスはコンソールの Wordclock インพุット～BLU Link Wordclock アウツプツト間で接続する必要があります。



■ その他 - Wordclock out コネクタピンアサイン

Wordclock 用のケーブルは Vi BLU Link カードに同梱されていますが、長いケーブルがみつようになった場合は下記のケーブルがご使用いただけます。

DB9コネクタ ‘P1’

Pin	Function
4	Wordclock Out (TTL)
9	Signal GND
5	Chassis GND
8	Chassis GND